

**調達価格等算定委員会（第 90 回）
議事要旨**

○日時

令和 5 年 11 月 17 日（金）16 時 00 分～17 時 29 分

○場所

オンライン会議

○出席委員

高村ゆかり委員長、秋元圭吾委員、安藤至大委員、大石美奈子委員、松村敏弘委員

○オブザーバー

農林水産省、国土交通省、環境省、消費者庁

○事務局

能村新エネルギー課長、潮新エネルギー課長補佐

○議題

地熱発電・中小水力発電について

○議事要旨

委員

＜地熱発電について＞

- ・ 事務局案に賛成。
- ・ 大きく価格を変えると収益の予見性を損ねるため、地熱のフォーミュラについては、今の事務局案に違和感はない。
- ・ 地熱のフォーミュラは 15,000kW への張り付き問題を 改善するが、始点や終点付近のほか、傾きによってはフォーミュラ区間でも容量を下げる誘導効果が働く可能性がある。より効果的な設計を幅広く考えていく必要がある。
- ・ フォーミュラの始点を 1,000kW・2,000kW のどちらに設定するかが論点である。現状のコストデータを見ると 1,000kW の方が自然であるという印象を持つ。フォーミュラの形を曲線にする案も含めて、メリット・デメリットの整理が必要である。
- ・ フォーミュラは始点を大きくすると傾きも大きくなり、張り付き問題解決の効果が薄くなる恐れがある。始点は 2,000kW より小さくするのが合理的ではないか。

- 一定の出力以上については、それ以下出力帯における価格と按分する形で価格を設定する案も考えられるが、フォーミュラが曲線となることで傾きが急になる部分が生じ、張り付きの懸念がある点や、制度運用上の複雑さが生じる点を考慮したものと理解した。
- 地熱や中小水力のように長期安定的に稼働する電源への支援については、メリット・デメリットを踏まえて議論していくことが需要。短期間で投資回収させる現行制度から低価格で長期間買い取る制度へと変更することも考えられるが、FIT/FIP制度が長期間残ることは、同制度が電源の自立に向けた移行措置である点を踏まえると望ましくないといった点には問題意識を持っている。
- 現行の FIT/FIP 制度において、投資額の早期回収が可能になっているのは良い点であるが、稼働年数に関わらず支援期間が同じであり、長期稼働へ向けたインセンティブがない制度設計となっている側面もある。
- 地熱は想定値ではなく、15,000kW の価格差に問題があったと認識。コスト動向を見ると、1,000kW が閾値となっている印象。運用面の問題に加え、価格を引き下げた際のフォーミュラの設定方法など、制度設計上の問題についても事前に検討する必要がある。

＜中小水力発電について＞

- 事務局案に賛成。
- 中小水力の 5,000～30,000kW は、オーバーホールの実施期間や間隔が長いと、引き続き実態把握を継続していただきたい。
- 長期安定電源に対する支援について、5-60 年の支援となると、FIT/FIP とは異なる支援手法が適切なのではないかという印象も受けるし、全ての地熱・中小水力が対象になるかについては議論の余地がある。
- FIP 認定案件が増えている。FIP を選択した事例の背景やビジネスモデル等が分かると、他の事業者にとっても参考になるのではないかと。
- 2021 年度は新設・既設導水路活用型ともに極めて大きな認定量となっているが、背景を分析していれば伺いたい。

事務局

- 地熱のフォーミュラはメリット・デメリットを改めて整理するが、分かりやすさや、傾きが緩やかになるほど張り付き対策になる点を踏まえ、現行の案を提示した。実際の運用面も含めて引き続き検討を行う。
- 5,000kW～30,000kW の中小水力については、オーバーホールの影響を引き続き検証し、報告する。

- 2021 年度の水力の認定量増加は、FIP の導入や地域活用要件の設定といった制度的変更に伴って駆け込み申請があったものと認識しているが、今後さらなる検証を行う必要がある。
- FIP については、今後ヒアリング等を通じて好事例や FIP 選択の背景を整理し、大量導入小委や本委員会で御報告したい。
- 長期安定電源については関係する審議会でもしっかり議論いただきたい。長期稼働へと誘導するうえでどのような設計がよいのか、FIT/FIP が適切な支援形態なのかという点を含めて検討していきたい。

委員長

- 地熱については、事務局提案に基本的に異論はなかった。コスト動向を踏まえつつ、具体的なフォーミュラの形について事務局に検討をお願いしたい。
- 中小水力についても、事務局提案に対し委員から異論はなかった。
- 事務局には、委員からの指摘も踏まえて作業を進めていただきたい。